

2021年度～2025年度 バリアフリー整備等実績

鉄軌道事業者名	横浜高速鉄道株式会社
期間中の総整備費	3,342 百万円
期間中の総徴収額	2,006 百万円
備考	

整備完了実績（設置又は改良であって、期間中に供用を開始したもの）					
設備名	計画数		整備数		進捗率
ホームドア	1 駅	2 番線	1 駅	2 番線	100 %
エレベーター	駅	基	駅	基	%
エスカレーター	駅	基	駅	基	%
スロープ	駅	ヶ所	駅	ヶ所	%
内方線付点状ブロック	駅	番線	駅	番線	%
段差隙間縮小に資する設備	駅	番線	駅	番線	%
バリアフリートイレ	3 駅	3 ヶ所	3 駅	3 ヶ所	100 %
車両のフリースペース	編成	両	編成	両	%
その他		駅		駅	%
備考					

※整備内容の詳細については様式3-2に記載すること。

※設備欄において「その他」を選択した場合には、備考欄に当該設備名を記載すること。

※計画進捗率は、計画期間における整備数の累計/計画期間における整備計画数により算出すること。

料金徴収による期間中のホームドア設置番線数・段差解消駅数		
ホームドア設置番線数		2 番線
段差解消駅数	一経路確保駅	- 駅
	二経路以上確保駅	- 駅

2021年度～2026年度 バリアフリー整備等実績

整備実績			
(1) 設置・改良費			
設備名	整備数		整備費
ホームドア	1 駅	2 番線	291 百万円
エレベーター	駅	基	百万円
エスカレーター	駅	基	百万円
スロープ	駅	ヶ所	百万円
内方線付点状ブロック	駅	番線	百万円
段差隙間縮小	駅	番線	百万円
バリアフリースイレ	3 駅	3 ヶ所	618 百万円
車両のフリースペース	編成	両	百万円
その他		駅	百万円
備考			
(2) 更新費			
設備名	整備数		整備費
ホームドア	駅	番線	百万円
エレベーター	5 駅	14 基	716 百万円
エスカレーター	駅	基	百万円
バリアフリースイレ	駅	ヶ所	百万円
車両	編成	両	百万円
その他		6 駅	706 百万円
備考	※ その他の内容は以下の通り。 1) エレベーター及びエスカレーターの部分更新：横浜駅、2) 案内サインの更新：新高島駅・元町・中華街駅、3) 触知案内盤の更新：新高島駅・みなとみらい駅・馬車道駅・横浜駅(部分更新)、4) 誘導チャイムの更新：みなとみらい駅・馬車道駅・日本大通り駅・元町・中華街駅、5) 行先表示器の更新：新高島駅・みなとみらい駅・馬車道駅・日本大通り駅・元町・中華街駅		
(3) 維持管理費・収受システム改修費・その他費用（駅務機器改修費・駅頭表示改修費など）			
維持管理費	943	百万円	
収受システム改修費	25	百万円	
その他費用 (駅務機器改修費・駅頭表示改修費など)	43	百万円	
備考	※ 維持管理費は、ホームドア、エレベーター、エスカレーター、バリアフリースイレ、定位置停止装置及び行先表示器等の維持管理		

※設備欄において「その他」を選択した場合には、備考欄に当該設備名を記載すること。

2021年度～2025年度 バリアフリー整備等実績

整備等計画と実績が異なる場合の対応方針